

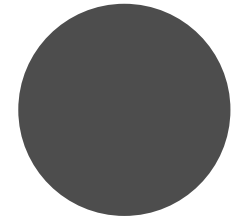
防除について



2026年度

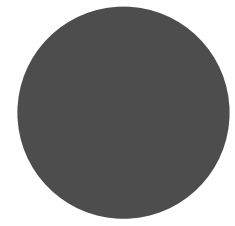
主要防除

- 水稲 カメムシ・いもち病
- 麦 赤カビ
- 大豆 カメムシ・紫斑病



理解して撒ける作業者になる

- ① 何に効くのか
- ② どこにいるのか
- ③ どう効かせるのか

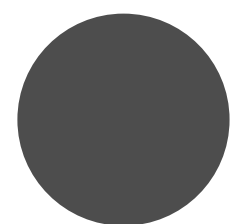


防除の本質

ドローン防除



ターゲットに当てる仕事



農薬は“効き方”で分ける

- ・ 殺虫剤 → 当てる
- ・ 殺菌剤 → 守る（コーティング）

- 穂を吸う虫を減らす
 - ・ 斑点米 → 等級低下
 - ・ 品質を守る防除
- 狙っているのは小さいカメムシ
 - ・ 5～7mm
 - ・ カスミカメ類
- 畔 = 発生源
穂 = 被害現場
畔 → 圃場 → 穂
 - ・ 出穂前：畔
 - ・ 出穂後：穂
- 穂にいるカメムシに当てている
 - ・ トラップではない
 - ・ その場で倒す

● 卵には効かない

- ・ 卵 → 5～7日で孵化
- ・ 1世代：約30日

● 1回では終わらない

- ・ 1回目 → 今いる敵
- ・ 2回目 → 後から出る敵

● 殺虫剤 = 当てる薬

- ・ スタークル
- ・ キラップ
- ・ トレボン

- カビによる病気
 - ・ 葉 → 穂に広がる
 - ・ 収量に影響
- 圃場内で増える
 - ・ 胞子で拡散
 - ・ 環境依存
- 湿度・温度・時間
 - ・ 湿度90%以上
 - ・ 葉濡れ8時間以上
- 見える前に守る
 - ・ 予防が基本
 - ・ 出てからは遅い（抑制）

● Q. 出てから撒けばいい？
A. 遅い（止めるだけ）

● Q. 密集圃場は止まる？
A. 完全には止まらない（抑制）

● 殺菌剤 = 守る薬

- ・ブラシン
- ・コラトップ
- ・フジワン

● 穂のカビ防除

- ・カビ毒 → 出荷NG

● 開花期がすべて

- ・タイミング外すと意味なし

● 発生条件

- ・温度：20℃前後
- ・湿度：高い
- ・雨：連続

● 薬剤

- ・チルト
- ・トップジンM

● 紫斑病

- ・ 商品価値低下
- カメムシ
- ・ 収量低下

● 薬剤（カメムシ）

- ・ スタークル
- ・ キラップ
- ・ トレボン

● 薬剤（紫斑病）

- ・ アミスター
- ・ トップジンM

NINJALINKSS

■ 農薬は2つの世界

殺虫剤

- カメムシ
→ 当てる

殺菌剤

- いもち
- 赤カビ
- 紫斑
→ 守る



「同じ薬でも

“理解している人”が撒くと結果が変わる」



